

PTA活動紹介		高P連受付番号	5
PTA(学校)名	愛知県立大府もちのき特別支援学校桃花校舎PTA		部門 特別支援
活動テーマ	高校生のためのネット社会の歩き方		
キーワード	情報モラル	親子で学ぶ	安全
開催日	平成30年10月11日(木)		
場所	桃陵高校医学講義室		
時間	10時00分～12時00分		
参加者	生徒81名 内訳 第1学年生徒 27名 第2学年生徒 27名 第3学年生徒 27名	保護者 19名 内訳 第1学年保護者 6名 第2学年保護者 5名 第3学年保護者 5名 本校保護者 3名	教員 30名 合計 約130名
趣旨	スマホの使用について理解を深め、トラブルを未然に防ぎ、適切な使用を考える機会とする。		
活動ポイント	保護者、子ども、教員と一緒に学ぶことで、情報を共有することができる。		
主体委員会名・講師名等	PTA常任委員会・株式会社教育システム代表取締役 長尾幸彦		

本校は、平成18年に桃陵高校の敷地内に併設された特別支援学校である。1学年27名、合計81名の生徒が県内各地から通学している。毎年10月にPTA研修会としてテーマを考え、外部から講師を招いて実施している。今年度は、スマホの使い方についての講座の開催を計画した。当初は、保護者のみの予定であったが、親子で学べる機会があると家庭で話をする良いきっかけになると考え、生徒の参加が可能に相談した。学校においても外部講師を招いての講座開催を計画していたので、この機会と一緒に学ぶことにした。親子、そして教員も一緒に参加することで内容を共有できる大変良い時間を持つことができた。

～講師紹介

株式会社教育システム代表取締役
ネットいじめ対応アドバイザー
情報ネットワーク教育活用研究協議会会員
大府市教育委員会 教育情報化コーディネーター
長尾 幸彦 様

愛知県立中村高校、半田市立宮池小学校など学校での情報モラルの講演を多数行っており、対象年齢に合わせた内容で分かりやすいです。



メール送信先 info@aichikoupren.org

～講演のポイント～

・デジタルネイティブ…スマホと一緒に大人になっていく初めての人類
・今までの「情報モラル教育」といえば…「怖いぞ」「危ないぞ」=使わせない
では、これからは?? **情報活用能力の重視**

・事例…ライン友達からこんなラインがきました。
「ぼくの部屋から月が見えない。きみの部屋からは月が見える?写真を撮って送ってこない?」
さあ、あなたは どうしますか?

権利と義務
危険性を知って
「賢く使う」

・お父さん、お母さんは、「使い方が分からない」「難しい」とあきらめずに、子どもに「どうやって使うの?」と聞いて、教えてもらいながら、子どもがどうやってスマホを使っているかを知ると良い、とアドバイスがありました。



和やかな雰囲気での問いかけにたくさんの生徒が手をあげ、笑顔で答えることができました。

【生徒の感想】

・面白くて分かりやすかった。
・写真に位置情報が含まれることを知らなかったの、知ることができてよかった。
・スマホで家のエアコンなどの電化製品のスイッチを入れることができるのがすごいと思った。使いこなしたいと思いました。

【保護者の感想】

・使わせない方向の話かと思っていたので、家でも今回の話を家族にしたいと思いました。上手く活用できるようになると良いと思いました。
・ユーモアも交えてとても分かりやすく楽しかったです。
・なんとなく知っていることも細かく知ることができた。
・保護者の義務として活用する能力の習得を促進することは、少しずつ責任を持っていきたいと思います。
・便利さと怖さの両方を教えていただけてよかった。

講演をきっかけに「子どもと話し合う機会を作りたい」「親子共に勉強したい」という感想が多数ありました。子どもとコミュニケーションをとるきっかけにもなります。

【今後の内容への希望】

・ネットやスマホの研修は、保護者にとっても子どもにとっても、ともに今の時代にあってとても勉強になるので、来年も聞いてみたい。
・災害等に備えてトリアージの事や、救命活動の事など聞いてみたい。
・成年後見人制度について。
・今回のように生徒たちも一緒に参加できる勉強会が良いと思った。

来年度以降も充実した研修会にしていきたいです。